

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科（建築型） 3年	教科書 副教材等	建築計画（実教出版）
学習目標		各種建築物の計画、都市計画、建築設備、建築の歴史的な変遷などの建築計画に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。また、豊かな建築空間を合理的に計画・設計できる能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画 第4章 都市と地域の計画 1 都市と都市計画 2 都市計画制度と都市計画法 3 建築と地域の計画 4 地域の計画とまちづくり			・各種建築物の目的や種類等について学習する。また、その計画の方法について理解する。 ・都市計画の目的や理念等、基本的な仕組みについて理解する。 ・都市計画法に基づく都市計画の進め方や、実現化される過程について理解する。 ・都市に建築物を設計する場合や、新しい市街地を計画する場合の配慮すべき事項について理解する。	
2	第5章 建築設備の計画 1 建築設備の概要 2 給排水・衛生設備 3 電気調和・換気設備 4 電気設備 5 防災設備			・設備計画に関する基本的な事項を学習し、その重要性について理解する。また、各種設備の形式や計画の方法について具体的に学習する。	
3	6 搬送設備 第6章 建築の移り変わり 1 日本の建築 2 西洋の建築 3 近代の建築 4 現代の建築			・エレベーターやエスカレーター、駐車設備の基本的な事項を学習し、これらの計画の方法について理解する。 ・これまでに建築物や都市がつくり出されてきた過程について理解する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。また設計者として望ましい心構えや態度を身に付けるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		・建築計画にかかわる基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む 態度		・建築計画に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築物の作り出される過程とのかかわりなどを理解するため、意欲的に取り組んでいる。かいするためを合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。			
評価 方法	学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物」、「小テスト」、「定期考査」により評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は、授業の内容から出題します。 ○ 課題やノート等の提出物は、必ず提出期限を守りましょう。					